

福島地方環境事務所の最近の動き (今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町及び飯舘村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です
- ・葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去及び除染工事に着手予定です（11/20）
- ・双葉町（中間貯蔵施設）において、仮設焼却施設及び仮設灰処理施設の起工式を実施しました。環境省からは、あきもと副大臣が出席しました（11/15）

○ 中間貯蔵施設関連

- ・26 市町村から平成 30 年度の輸送を実施中です

< 除去土壌等の輸送の進捗状況 >

今年度の輸送対象物量	今年度搬入済量（11/13 時点）	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 85.6 万 m ³	約 47.6%
累積の輸送対象物量	累積搬入済量（11/13 時点）	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 161.5 万 m ³	約 11.5%

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です
- ・浜通りから知る「地域産業の可能性」をテーマにした 1 泊 2 日のバスツアー「ふくしまみちさがし」を開催しました（11/10～11）
- ・新宿御苑（東京都新宿区）において、福島を応援するイベント「新宿御苑ふくしま菊フェスタ」を開催しました（11/10～11）
- ・「特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま」の来館者数が延べ 5,000 人を超えました（11/10）

○ その他のイベント等関連

- ・「第 90 回富岡えびす講市」に出展しました。2 日間で約 1 万人の来場者があり、環境省ブースにもたくさんの方々にご来場いただきました（11/10～11）

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町及び飯舘村において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。
- ・葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去及び除染工事に着手予定です（11/20）。
- ・これにより計画認定された6町村全ての特定復興再生拠点区域で工事に着手することになります。

詳細は別添1、3のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3月に8県100市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

○ 最近の動き

双葉町（中間貯蔵施設）において、廃棄物や焼却残さの減容化を行う仮設処理施設の起工式を行いました。環境省からは、あきもと副大臣が出席しました（11/15）。

新たに建設する仮設焼却施設では、町内で発生した可燃性の除染廃棄物・災害廃棄物等と中間貯蔵施設内に搬入した可燃性除染廃棄物を焼却処理します。

また、本焼却施設内で発生する焼却残さ及び中間貯蔵施設内に搬入した焼却残さについても、仮設灰処理施設を建設し、減容化処理と再資源化を行います。

別添4のとおり

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添1のとおり

- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添5のとおり

Ⅱ. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

(1) 最近の動き

○ 26 市町村から平成 30 年度の輸送を実施中です。

○ 除去土壌等の輸送の進捗状況

今年度の輸送対象物量	今年度搬入済量 (11/13 時点)	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 85.6 万 m ³	約 47.6%
累積の輸送対象物量	累積搬入済量 (11/13 時点)	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 161.5 万 m ³	約 11.5%

(2) 平成 30 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(11 月 13 日までの搬入実績)

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬入済量(m ³)	累積 搬入済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	15,774	38,172
	相馬市	16,100	－	－	16,851
	南相馬市	113,200	－	38,829	66,891
	広野町	31,900	－	5,219	14,779
	楡葉町	72,400	－	37,284	62,740
	富岡町	162,400	－	72,109	115,558
	川内村	42,400	－	40,502	55,057
	大熊町	147,000	－	58,879	110,243
	双葉町	132,700	－	24,007	70,926
	浪江町	130,300	－	30,526	67,004
	葛尾村	71,400	－	50,681	67,208
	飯舘村	151,600	－	93,689	121,980
中通り	福島市	78,700	20,000	30,223	55,098
	郡山市	67,200	20,900	78,934	142,301
	白河市	33,800	100	28,452	52,913
	須賀川市	22,000	3,600	16,922	31,847
	二本松市	50,000	－	29,291	73,072
	田村市	47,800	300	28,671	55,161
	伊達市	62,600	6,000	33,945	54,863
	本宮市	20,600	－	14,150	37,435
	桑折町	19,200	－	2,486	19,120
	国見町	16,300	－	6,948	18,292

	川俣町	71,600	-	36,131	58,410
	大玉村	13,700	-	8,984	18,249
	鏡石町	0	300	323	7,853
	天栄村	16,100	-	6,362	16,033
	西郷村	54,900	-	39,719	60,803
	泉崎村	15,200	-	8,246	18,677
	中島村	6,400	-	5,827	14,054
	矢吹町	13,900	-	7,279	16,876
	三春町	24,400	-	5,682	19,871
	合計	1,728,000	59,000	856,074	1,614,739※

※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1 m³と換算しています。

※ 中間貯蔵施設への搬入済量（2018年5月末時点）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年5月末時点、市町村除染：2018年3月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年5月末時点、市町村除染：2018年3月末時点））の合計量。

※ 10万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。

※ 累積搬入済量の合計値には、2018年3月末時点で搬入が完了している市町村の搬入量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬入済量の合計とは数字が一致しません。

○ 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等

こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>

○ 中間貯蔵施設に係る工事等について

工事等の一覧は別添2のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

（１）最近の動き

○ 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。

○ 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。

○ 飯舘村において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しました（11/13～15）。

- 11月10日(土)～11日(日)にかけて、1泊2日のバスツアー「ふくしまみちさがし」を開催しました。

今回の「ふくしまみちさがし」では、『浜通りから知る「地域産業再生の可能性」』をテーマに、社会学者の開沼博氏、佐々木邦浩氏（富岡町役場職員）、遠藤秀文氏（株式会社ふたば代表取締役）とトークセッションを行うとともに、富岡町や檜葉町を拠点に活動されている企業、農業再生の現場、漁業協同組合などを訪問し、お話を聞かせていただきました。

詳細は、別添6のとおり

- 11月10日(土)～11日(日)に新宿御苑（東京都新宿区）において、福島県及び二本松市と協力して、福島を応援するイベント「新宿御苑ふくしま菊フェスタ」を開催しました。

当日は、二本松市の菊人形の展示や特産品の紹介、菊花茶の試飲、福島県双葉郡の4町（檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町）の復興の取組の紹介や新米のプレゼントなどを行い、2日間で2,000人を超える方々にご来訪いただきました。

詳細は、別添7のとおり

- 「特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま」の来館者数が延べ5,000人を超えました（11/10）。今後とも地元・県内県外に向けた適切な情報公開を行ってまいります。

詳細は、別添8のとおり

（2）これまでの実施状況

（11月16日時点）

項 目		実施回数	
		H29 年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	（ア）職員向け研修会	77 回	29 回
	（イ）専門家派遣	47 回	12 回
② 住民の放射線に関する理解醸成の支援	（ア）住民セミナー	72 回	28 回
	（イ）車座意見交換会	62 回	41 回
	（ウ）個人線量測定の実施（WBC）	83 日	60 日
	（エ）リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	（オ）ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日	132 台・日
③ 環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	（ア）専門家派遣	142 件	101 件
	（イ）移動展示	42 件 [55 日]	34 件 [50 日]

IV. その他のイベント等関連

環境省（福島地方環境事務所）は、自治体等が実施するイベント等のサポートを行っています。

○ 最近の動き

11月10日(土)～11日(日)に富岡町で開催された「第90回富岡えびす講市」に出展しました。

環境省ブースでは、学生ボランティアも参加し、①霧箱を使った放射線の観察、②お米1kgの量り取り、③プロのカメラマンによる記念撮影、④えびす様のおめん作りを行いました。

当日は、町内外から約1万人の方が来場され、環境省ブースも多くの方にご覧いただき、来場者のみなさんと交流を図ることができました。

詳細は別添9のとおり

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8～) ※H30. 9 月に着工
浪江町	○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15～) ※H30. 7 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20～)</u> ※H30. 8 月に着工 ○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中
双葉町	<u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4～)</u> ※H29. 12 月に着工 <u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10～)</u> ※H30. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中
大熊町	○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19～) ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25～)</u> ※H30. 3 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

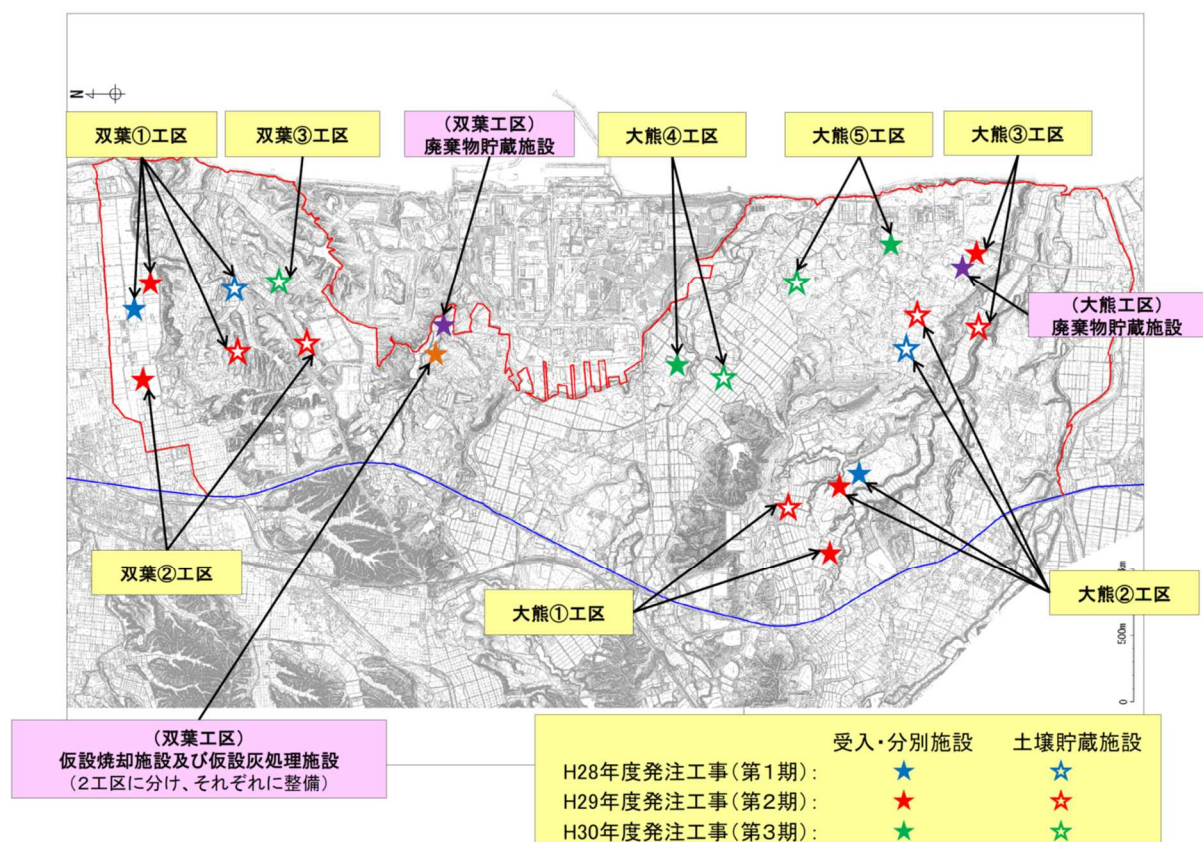
市町村	工事名
富岡町	○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22～) ※H29. 6 月に着工 ○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町フォローアップ除染等工事 (H29/9/26～) ※H29. 10 月に着工 <u>○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事(その 1)(H30/8/7～)</u> ※H30. 8 月に着工 ○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H29/12/27～) ※H30. 3 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中
檜葉町	○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/4/19～) ※H29. 5 月に着工 ○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5～) ※H30. 8 月に着工 ○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9～) ※H30. 7 月に着工
飯舘村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10～) ※H30. 4 月に着工 <u>○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事(H30/9/4～)</u> ※H30. 9 月に着工 ○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了
川俣町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29～) ※H30. 6 月に着工 ○平成 30 年度川俣町建物解体等撤去工事(公共特殊建物)(H30/7/26～) ※H30. 10 月に着工
葛尾村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)葛尾村仮置場復旧等工事(その 2) (H30/6/20～) ※H30. 7 月に着工 <u>○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/5～)</u> ※H30. 11 月 20 日着工予定 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 10 月に着工、H30. 9 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 11 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 9 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29. 11 月に着工、H30. 10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30. 9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30. 10 月に着工
廃棄物関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※H30. 6 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※H30. 7 月に着工、H31 年度内に稼働予定

	工事名
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）

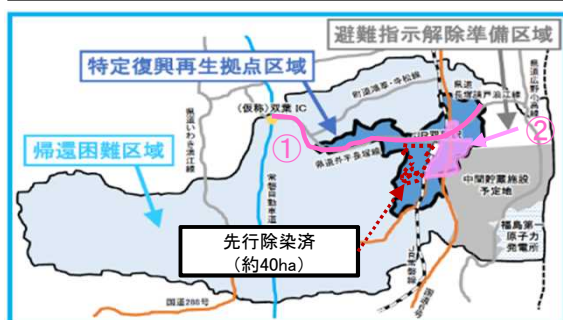


特定復興再生拠点区域整備の状況 (2018年11月16日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村で解体・除染等工事に着工。

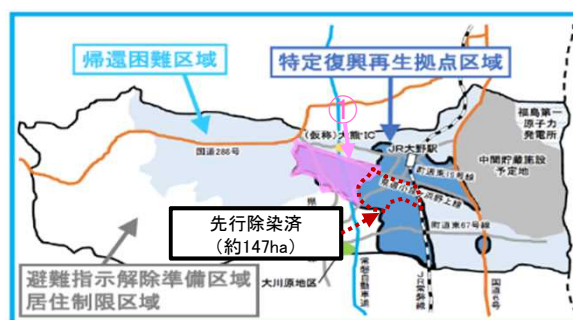
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】

- ①復興シンボル軸解体・除染等工事
(解体55件、除染約7ha) : 12月25日着工
- ②駅東等解体・除染等工事
(解体640件、除染約90ha) : 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】

- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染等工事
(解体460件、除染約160ha) : 3月9日着工

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】

- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha) : 完了
- ②3地区における解体・除染等工事
(解体60件、除染約30ha) : 実施中

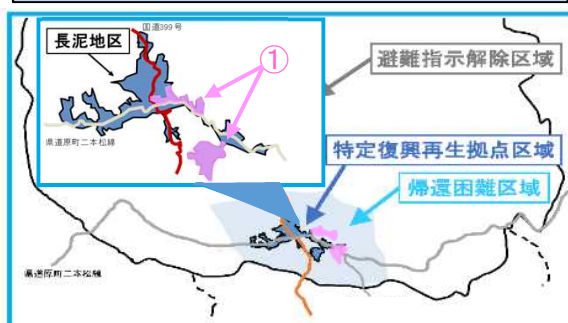
富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】

- ①夜ノ森駅周辺の除染等工事(除染約0.3ha) : 完了
- ②拠点北エリアの解体・除染等工事
(解体300件、除染約80ha) : 実施中

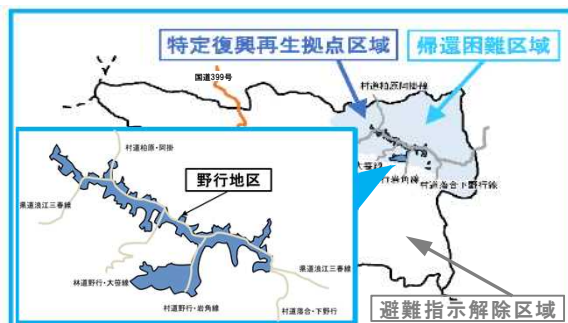
飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



【工事状況】

- ①長泥地区の居住促進ゾーンを中心とした解体・除染等工事
(解体20件、除染約30ha) : 9月28日着工

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】

- ①野行地区の解体・除染等工事
(解体10件、除染約0.5ha) : 11月20日着工予定

仮設処理施設(中間貯蔵施設)の 起工式について(双葉町)

別添 4

【概要】

- 双葉町に設置する仮設処理施設（中間貯蔵施設）の起工式を11月15日に行いました。
本事業は、中間貯蔵施設内の双葉町細谷地区に仮設焼却施設を建設し、双葉町で発生した可燃性の除染廃棄物・災害廃棄物等と中間貯蔵施設内に搬入した可燃性除染廃棄物を焼却処理するものです。また、本施設内で発生する焼却残さ及び中間貯蔵施設内に搬入した焼却残さについても、仮設灰処理施設を建設し、減容化処理することにより、焼却残さのさらなる減容化を行います。
- 施設概要
 - ・ 設置場所：福島県双葉郡双葉町大字細谷字大森地内
 - ・ 用地面積：約114,000m²
 - ・ 仮設焼却施設
 - 処理能力：150トン/日×1施設、200トン/日×1施設
 - 処理対象物：除染廃棄物、津波廃棄物、家屋解体廃棄物等
 - 処理見込量：約277,000トン
 - ・ 仮設灰処理施設
 - 処理能力：150トン/日×2施設
 - 処理対象物：焼却残さ
 - 処理見込量：約231,000トン

【起工式風景】



(あきもと副大臣のあいさつ)



(あきもと副大臣による鍬入れ式)

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 11 月 16 日

【最新の進捗状況】

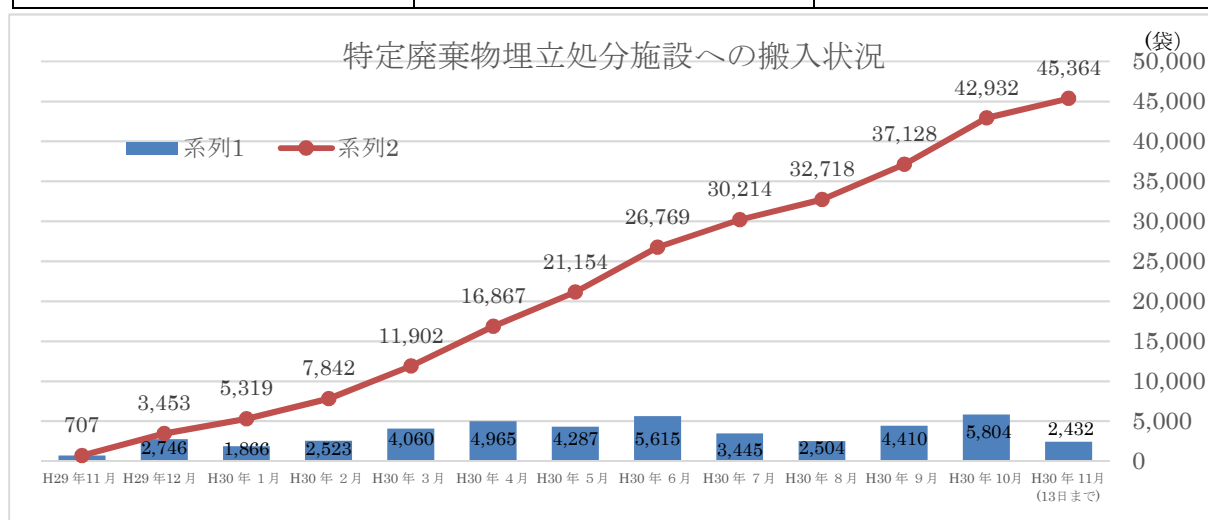
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
11/7～11/13	1,292	45,364

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月	707	707
平成 29 年 12 月	2,746	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月	2,504	32,718
平成 30 年 9 月	4,410	37,128
平成 30 年 10 月	5,804	42,932
平成 30 年 11 月(13 日まで)	2,432	45,364



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

- ・ 環境再生プラザの1泊2日のスタディツアー「ふくしまみちさがし 浜通りから知る地域産業再生の可能性」を11月10日(土)、11日(日)に実施しました。
- ・ 福島県内外からの20名の参加者と共に、富岡町と楢葉町を訪ね、それぞれの地域でがんばっている方々の取組をお聞きしました。ワインヤードやJヴィレッジ、サツマイモ畑、サケが遡上する木戸川など、見学に加えて、芋掘りなどの体験、参加者同士のワークショップなども交えました。
- ・ 避難指示解除後に戻られ、事業を再開しながら新たな挑戦をしたり、自然資源を活かして環境再生を目指したり、県外から福島に来て農地の活用に情熱を注いだりなど、見て、聞いて、体験して、分かちあいました。参加者の皆さんは、様々な取組をする方々と交流し、元気と刺激をもらった様子でした。

当日の様子



ワイン作りの新たな取り組みを聞く
－海が見えるブドウ栽培地で 富岡町－



サツマイモ芋掘り体験をする参加者
－農地の活用 楢葉町－



木戸川漁協の方々によるサケの合わせ網漁



参加者同士でのふりかえりの様子
－リプルンにて－

- ・ 11月10日(土)、11日(日)に「新宿御苑ふくしま菊フェスタ」を開催しました。本イベントは昨年に続き2回目の開催となります。
- ・ インフォメーションセンター前のブースでは、二本松市の協力をいただき、職人が丹精込めて作り上げた「菊人形」の展示や特産品の紹介、菊花茶の試飲などを行いました。
- ・ 両日とも天候に恵まれ、また、新宿御苑内では「菊花壇展」も開催されており、外国人を含む多くの方が来園されました。本イベントのブースにも多くの方が足を止め、菊人形と一緒に写真撮影を楽しんでいました。
- ・ また、福島県双葉郡の4町（楡葉、富岡、大熊、双葉）の復興に向けた取組を紹介するとともに、楡葉町で収穫した新米をプレゼントするクイズを行い、多くの方にご参加いただきました。

当日の様子





リプルンふくしま 来館者 5,000人を達成しました。



特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」は、平成30年8月24日（金）のオープンから、平成30年11月10日（土）に来館者数**5,000人**を迎えました。
記念すべき5,000人目の来館者である東京都からお越しのご家族には、記念のクヌギの植樹を行っていただき、インタビューにも「こうした施設にもっと来場者が増えて正しい知識が広まればいいと思います。」とお答えいただきました。



リプルンふくしま 福島県双葉郡富岡町大字上郡山字太田526-7

電話：0240-23-7781（9:00～17:00）

開館時間：9:00～17:00/休館日：月曜日・年末年始

リプルンふくしま

検索



- ・ 11月10日(土)、11日(日)に富岡町で開催された「第90回富岡えびす講市」に出展しました。
- ・ 昨年、7年ぶりに再開された「富岡えびす講市」ですが、今年は、2日間で約1万人の来場者があり、おいしいグルメや企業等による展示のほか、恒例の餅投げ大抽選会などのステージイベントも行われ、大いに賑わいました。
- ・ 環境省のブースでは、学生ボランティアも参加し、①霧箱を使った放射線の観察、②お米1kgの量り取り、③プロのカメラマンによる記念撮影、④えびす様のおめん作りを行い、ご来訪いただいたたくさんの方々と交流を図ることができました。

当日の様子



餅投げ大抽選会



出展ブース



小さな実験室での放射線の観察



お米1kgの量り取り



プロのカメラマンによる記念撮影



えびす様のおめん作り